



診察室

ざくばらん



イラスト・野畑桃花

一定の動作後

いきなり痛み

意外と多い労作性頭痛

医者には、なんでもありのままに話すほうが良い。確かに、他人には隠しておきたいこともある。が、そのままでは損をする。

42歳のKさん。いきなり、頭がガンガン痛くなったのだという。体を動かすとひどくなる。が、休んでいたら、30分くらいで頭痛は治った。が、これが初めてではない。で、みんなに脅かされて、しびしがクリニックを受診した。

ところが、頭痛がどんな時に始まったのか聞くと、なぜか言いよびむ。だからこそ、ワッシーはピンときた。で、「なり、夜のこと？」と、わざと素っ気なく聞く。Kさんはウンと頷^{うなづ}いた。性交時の頭痛である。これは意外と多い。「労作性頭痛」

だ。

労作性頭痛の原因は、よく分らない。筋トレで、重いものを持ち上げた。タイエットにジョギングを始めた。運動会で走った後というもある。咳き込んだ。くしゃみが続いた後でも起きる。性交時や自慰行為でもみられるという。酸欠や血圧上昇、筋肉の緊張が高まるような一定の動作で起きるものだ。

多くは、両側の側頭部や後頭部にズキンズキンと、かなり強い痛みを訴える。持続時間は5分から1時間くらい。1、2日というのものもある。安静を保てば、やがて治まる。治療は、頭痛の起きる前に鎮痛剤をのむことくらいである。

などというところ、「なーんだ。たいしたことない頭痛か」と、高を括弧れそつだ。が、とんでもない。いきなり頭が痛くなるといえば、あのコワイ「くも膜下出血」も同じだ。死亡率50%である。が、一般のひとは区別できない。経験したことがない頭痛がしたら、すぐに受診して本当のことを話してほしい。

大丈夫だ。他人には話さないから。医者には守秘義務がある。そつだ、ワッシーだって、Kさんが誰か分からないように書いてある。

(石黒修三 しいしぐろクリニック
・脳神経外科専門医、金沢市在住、
射水市出身)